

# 鎌倉市の観光事情

<平成20年度版>

鎌倉市市民経済部観光課

鎌倉市観光基本計画進行管理委員会

平成20年10月

## 目 次

### 1 . 進行管理状況評価報告書 . . . . . P . 1

～ 鎌倉市観光基本計画進行管理委員会編～

### 2 . 平成 1 9 年度実績概要 . . . . . P . 7

～ 鎌倉市市民経済部観光課編～

. 平成 1 9 年度の実績概要 . . . . . P . 8

. 目標指標の 1 9 年度実績数値 . . . . . P . 1 3

. 観光課の事業概要 . . . . . P . 2 7

. アクションプランの進捗状況 . . . . . P . 3 4

. その他 統計データ . . . . . P . 4 1

# 進行管理狀況評價報告書

平成20年度版

鎌倉市観光基本計画進行管理委員会

## 【 1 】 1 9 年度実績に対する評価

平成 1 9 年度は、平成 1 8 年度末に策定された第 2 期鎌倉市観光基本計画に基づき、その推進体制を構築することを第一の目標として取り組んできた。

8 ページの実績概要にあるとおり、鎌倉市長を本部長とする「鎌倉市観光振興推進本部」や個別のテーマを検討する 7 つの「個別検討部会」など、鎌倉市全体で観光振興について意思統一し、地域一丸となって推進して行こうとする姿勢は、成熟した観光地において大変重要である。

同時に、進捗状況を評価検証する役目の「鎌倉市観光基本計画進行管理委員会（本委員会）」も設置されたことにより、P D C A サイクルに基づく進行管理も行える体制が整ったことは、基本計画を着実に推進していく上で、大変評価されることである。

目標指標の実績数値（1 3 ページ参照）については、観光客の満足度が 7 0 . 2 %、市民の満足度が、7 7 . 6 % と高い傾向にあり評価できるが、今後は「満足できない」理由の把握に努め、有効な改善策を実施していくことが求められる。

また、宿泊客数については、若干増加したが滞在型観光を推進するために、さらなる現状の分析が必要と考えられる。

## 【 2 】 アクションプランに対する個別評価

1 9 年度から、行政以外の取組みについても紹介されることになったことにより、地域全体での情報の集約が期待されることである。

その中で、鎌倉商工会議所において「鎌倉観光関連産業調査」や「青年部鎌倉ビジョン提言」などの取組みが独自に行われたことは大変評価でき、今後こうした取組みが多様な主体と連携していくことで、地域の活性化に繋がっていくと考えられる。

また、行政と市民の連携として、市都市景観課による「景観づくり賞」への市民参加や小町通り商店街の屋外広告物除去活動などが挙げられるが、こうした取組みが鎌倉を再認識するきっかけになっていくものとして大変評価できる。

行政のアクションプランで大変評価できる項目としては、

観光課のホームページアクセス数が、前年より 3 倍以上に伸びたこと。

賃貸借方式という新たな方式により、由比ガ浜大通りに公衆トイレが設置できたこと。

外国人観光客に便利な多言語化した観光案内標識の整備が進んでいること。

などが、あげられる。

一方、美術館や博物館など文化施設を連携させる取組みやパーク & ライドなど交通に関する広報の充実等については、さらなる検討をお願いしたい。

## アクションプランのチェック結果について

### 目標1 鎌倉らしさにこだわる観光の実現

項目	取り組みについての意見など
ア)鎌倉らしさの再認識と鎌倉らしいもてなしをしよう	鎌倉の生活文化・暮らしを体験できるプログラムの充実を 自然（海、山）を活かした子供向けのワークショップの開催を 老舗体験訪問などの窓口の一元化
イ)「いつでも、誰もが鎌倉らしさを楽しめる」まちにしよう	障害者、お年寄りなど、きめ細やかな配慮を（ハードの弱点をソフトで補完） <u>多様な交通機関を活用した質の高いサービス提供の検討</u>
ウ)既存観光資源の見直しと新たな魅力を創出しよう	博物館、美術館などの連携による新たな魅力の創出を 観光客の平準化、滞在時間を増やす取組みの充実を 従来観光資源化されていなかったものを観光資源化していく
エ)鮮度の高い情報を積極的に発信・提供しよう	情報を一元化し、積極的に発信できるシステムの構築が必要。 観光協会や市及び民間のホームページの相互連携

### 目標2 伝統と快適性の調和した観光空間の実現

項目	取り組みについての評価、意見など
ア)歴史的遺産やまち並み景観、豊かな自然環境を良好に保全しよう	市民を巻き込んだ景観関係の取組みは大変評価。同時に観光サイドとも連携を 広報宣伝に工夫し、景観を守る取組みや主体をPRすべき
イ)安全で快適にまち歩きできるようにしよう	交通安全総点検の実施による道路交通状況の公表を 屋外イベントのセキュリティ対策の充実を <u>外国人観光客に対する案内の充実を</u>
ウ)清潔できれいなまちにしよう	公衆トイレに関する情報（ある、ない含めた）を積極的に公開
エ)市民、観光客双方に快適な交通環境を実現しよう	パーク&ライドや渋滞対策について、さらなる検討を 江ノ電、バスの車内放送に工夫を

### 目標3 地域が一体となった観光振興の連携と実現

項目	取り組みについての評価、意見など
ア)多様な観光主体が一体となって、組織的に観光振興に取り組もう	推進本部、7個別部会などの地域一丸の運営体制は評価 観光協会が官民連携の中心的役割を担うような積極的な活動を ユニバーサル観光の視点から福祉関係団体との連携も必要 横浜、藤沢、逗子、葉山との一層の連携を
イ)本計画の進行管理を行い、進捗状況を積極的に発信しよう	進行管理を行うための進行管理委員会の設置は評価 各種のデータを集めた「鎌倉市の観光事情」作成は評価 小学生を対象にしたアンケートなどを検討

1 市の事業は、鎌倉市第3次総合計画後期実施計画に基づいたもので、事務事業レベルの評価は市経営企画課がとりまとめを行っており、市のホームページで紹介しています。

事務事業評価 <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/gyouseihyouka.html>

### 【3】今後に向けての課題・提言

本委員会は、平成20年3月に平成18年度実績を評価・検証した結果を踏まえ行った提言を改編し、以下の5項目について、再度提言を行うものとする。

#### 1．市民の理解を深める取組みの充実

「住んでよかった、訪れてよかった」の基本理念を実現させていくためには、観光振興に取り組むことに対する市民の理解と協力が不可欠である。このため、市民に対し、観光基本計画の趣旨や目標、具体的な取組みなどを積極的に広報していくことが重要である。

さらに、「鎌倉らしさ」を再認識するためにも、鎌倉の歴史、文化及び鎌倉らしい生活スタイルに実際にふれる機会の充実に努めるべきである。

#### 2．点から面への連携強化

各主体が独自に取り組むイベントや事業及びキャンペーンなどについては、できる限り連携を図り、既存の観光資源でなかった所も観光資源として面的な展開を図るべきである。

特に、美術館などの文化関係の施設については、官民連携による新たな回遊性を生み出す工夫を検討すべきである。

#### 3．各種統計データの充実

市が作成した実績報告には、目標指標に関するアンケート結果や各種の統計データが整理されている。今後は、関係団体等の協力もいただいて、個別イベントに関するデータや経済波及効果などに関するデータの収集に努め、市民に分りやすい統計データ作りに取り組むべきである。

#### 4．情報共有と情報発信のシステム化

市内で行われるイベント情報などが共有化されていないことや、地元を良く理解した旅行業者が存在していないことなどから、市内の情報が適切に発信されていない現状がある。

情報発信の専門家等とともに、情報一元化の手法や新たな情報発信のシステム化について検討を進めるべきである。

#### 5．観光を横串とした地域連携の体制作り

地域一丸となった観光振興を推進するためにも、今後は広く民間レベルの活動を把握していくことが必要である。そのためには、観光協会などの既存組織が中心となって、「観光を横串とする」連携の体制づくりを早期に立ち上げていくことが求められる。

## 【 4 】 委員会活動実績

### 1 . 委員会 委員名簿

20.4.1 現在

区分	所属団体	役職	氏名	
学識経験	慶應義塾大学総合政策学部	准教授	古谷 知之	委員長
"	(株)ツーリズムマーケティング研究所	取締役主席研究員	中根 裕	副委員長
関係団体	日本観光協会 事業推進グループ	国内振興チームリーダー	鷲尾 裕子	
"	鎌倉市観光協会	副会長	牧田 知江子	
"	鎌倉商工会議所	観光部会長	藤川 謙治	
"	鎌倉青年会議所	前理事長	菅尾 成彦	20.1から
行政機関	神奈川県商業観光流通課	観光室長	古谷 幸夫	
市民活動			久能 靖	
公募市民			アルバレス 万智子	
"			松尾 英治	

### 2 . 20年度委員会開催実績

	開催日	主な審議事項
1) 第3回	平成20年7月 4日	19年度実績の評価・検証
2) 第4回	平成20年8月28日	19年度実績に対する中間報告案の検討
3) 第5回	平成20年10月3日	19年度進行管理状況評価報告書のまとめ

